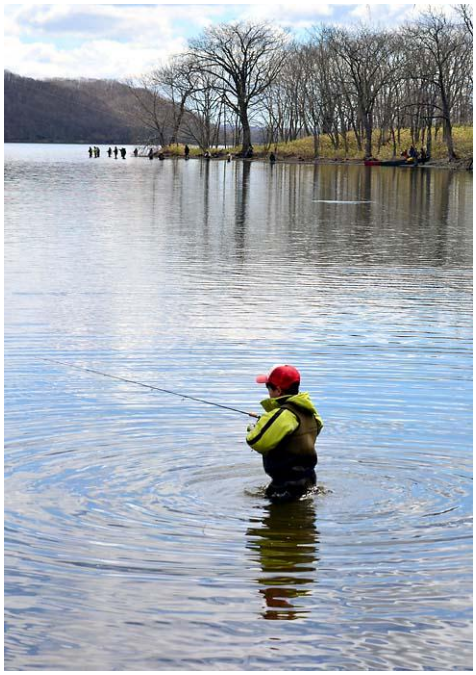
月刊やちまなこ

2013.5.15 発行
No. 186
5 月号

釧路湿原国立公園　塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより

　ゴールデンウィークを過ぎても寒い日が続いていて、気温も一桁、暖房が欠かせない日が続いている。新緑が目立ち始めた湿原には繁殖のため飛来した夏鳥の鳴き声も聞かれ、冷たい雨の中 Je, Je, Je とオオジシギが鳴きながら飛んでいた。灰色の雲が転がるように流れ、湖面の白波もまるでウサギのように跳ねている。
　エゾヤマザクラの蕾は薄らと緑色を帯び、湿原を囲む丘陵地が彩られる日はいつになるのだろうか。



コッタロ川と湿原のほとりから

155　5月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住．中本　アキ子（文）　中本　民三（写真）

“招かざる凍える春やいざ行かん”４月下旬からの長期滞在にすっかり嫌われた戻り寒波で氷点下はどうにかこうにか脱したものの９日迄の朝の気温＋０℃，本日（１０日）＋２℃で北風のとても冷たい昨今です。

物皆震え上がる中，野生の本能の目覚めは確実で賑やかな囀りと営巣準備に余念がない鳥達は，ウグイスを筆頭にアオジ，ノビタキ，カワラヒワの群が昨年にも増して多いような気がします。中でも一番のりのキジバトはペアリングに成功し♂♀揃ってトウキビ鍋でのツーショット。ほほえましいでしょう？何より励まし効果抜群と云えば，夜を徹して鳴き乍ら天翔ける独特のリズムと面白さで魅了するオーストラリアからの渡来客“オオジシギ皐月の空を一人占め”で，気候変動に惑わされることなく寒気をものともせずのマイペース。地球の宝物の一つであるこの鳥にひとしれず愛着を覚えずにはいられません。

一方，水辺を彩るキセキレイは，幼鳥で現われた昨年より一層胸の黄色が鮮やかな若鳥に成っていて，さらに来年が期待され，コッタロ川に目をやれば，川面をかすめて飛翔する川蝉がハッ！とする鮮やかなヒスイ色で石つぶての様に川筋を上下する姿が目に焼きついて，ついつい川歩きしたくなるのです。嬉しいのは５～６年ぶりのヤマゲラ♂が盛んに♀を呼んでおり，ひょっとしたら子育てするかも知れません。おまけにヒガラも来てくれた今季，珍しく接写することが出来ました。

ところで問題は，３月１３日から抱卵し続けている丹頂のコツ＆タロの番で，４月７日の洪水で死卵となったのも知らん顔で２ヶ月近くになろうとしているのですが，全く気付かず，人も入れずで救いようがありませんね。底無し沼（やちまなこ）が点在する湿原だからこそ彼等にとっては安全な営巣地なのでしょうが・・・・・。“丸い物なら石でも抱く”との昔人の言伝えに彼等の悲しい習性が実証されようとは・・・・・“Ｏｈ　Ｍｙ　Ｇｏｄ！”これからの一日一日をつぶさに観察し，記録に徹する覚悟でおります。

湿原の住人たち　その１４６　　アカハラ

「キョロン・キョロン・ツリー」の鳴き声があるこっと周辺でも聞こえるようになりました。特徴的な声の主は繁殖のために渡ってきた夏鳥のアカハラです。先日塘路湖畔のキャンプ場周辺で遭遇した十数羽の群は、芝生を歩きながら地面をつついて餌となるミミズや虫を探したり、湿地で水浴びしたりしていました。明るい林や芝地など人の暮らしと近い所にも現れるので、声が聞こえたら、脇腹から胸にかけて橙色で全長約２４㎝の鳥がいないか探してください。

盛況のバードウォッチング

今年もシラルトロ湖と茅沼蝶の森周辺でバードウォッチングを開催しました。４月はタンチョウコミュニティ代表の音成邦仁氏、５月は日本野鳥の会会員の長尾芳文氏に、野鳥観察のコツや鳥の特徴を教わりました。

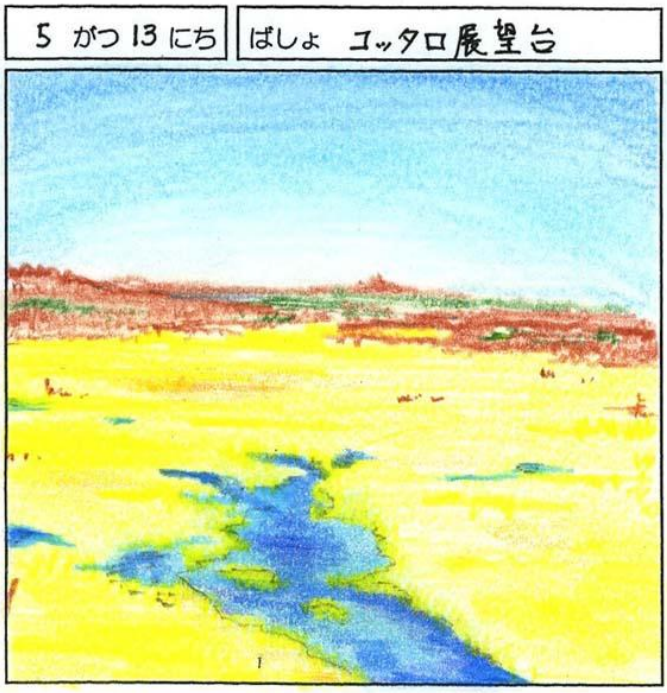
４月２２日　低温と強風でも、ヒシクイやコゲラなど14種の鳥が登場してくれました。この日の人気者・天然記念物のオジロワシを観察中↓

５月１１日　コムクドリやニュウナイスズメなど確認種数は20種。気温が高くなると鳴き声でフィールドも賑やかになります。

つぼっちの塘路周辺うろうろ日記　　Vol.68「極寒５月の楽しみ方！」

「今年の５月は寒いね～。」今の挨拶の定番です。過去の月刊やちまなこ５月にて私が書いた内容をみると、どうもこの時期桜は咲き始めか満開だったようです。しかし桜の開花の気配はなく、桜以外の樹木も葉っぱが茂る様子もなく、初春が続いているといった感じです。

寒い釧路地方ですが、先日コッタロ湿原に行った際、樹木の葉っぱや下草が伸びていないので、雄大に広がる釧路湿原を改めて楽しむ事が出来ました。湿原展望台の多くは、夏季になると樹木が生い茂り景観を十分に楽しむ事ができません。ヨシやスゲが延々と広がり、ところどころ小径木が風景にアクセントを加えている…、今は湿原を俯瞰し、広がりを感じるには最高の時期です。十分に防寒対策をした上で、展望台を巡ると新たな発見があるかもしれません。



坪岡　始（標茶町郷土館学芸員）

６月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

新緑の湿原バードウォッチング

［日時］６／８（土）10：00～12：00
［定員・参加料］１５名、無料
［場所］蝶の森・シラルトロ湖周辺
［持ち物］双眼鏡（無料貸出も有り）　天候にあわせた服装・靴
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　塘路湖エコミュージアムセンターまで　℡ 015-487-3003

春の湿原花ハイク　［日時］６／９（日）　10：00～12：00

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　温根内ビジターセンターまで　℡ 0154-65-2323

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【 植物 】(4/21)アズマイチゲ.エゾエンゴサク (4/26)キバナノアマナ (5/6)オオウバユリの芽.カキツバタの芽(5/8)キタコブシ (5/10)エゾキケマン.フッキソウ.ハルニレ.キジムシロ.ヒメイチゲ.ミズバショウ.ネコノメソウ.タチツボスミレ.ホザキシモツケの若葉 .オオバナノエンレイソウ花の蕾.コウライテンナンショウの芽(5/12)ウラホロイチゲ

【 鳥 】(4/20)ヒシクイ.オオハクチョウ.ヒドリガモ.オナガガモ.ミコアイサ.ツグミ.キジバト.ハクセキレイ.アカハラ.カワラヒワ.ベニマシコ.ノビタキ (4/21)タンチョウ.コガモ (4/22)ダイサギ.アカエリカイツブリ.キンクロハジロ.オオバン (4/23)ユリカモメ (4/24)オオジシギ.オシドリ (5/5)ツバメ.コマドリの声 (5/10)エゾムシクイの声.ウグイスの声.ヨシガモ.アオジ.モズ.シメ.ヒヨドリ.セグロカモメ.カワセミ (5/11)ニュウナイスズメ.センダイムシクイ.オオジュリン.コムクドリ.チュウヒ (5/12)カモメ

【その他】(4/19)アメリカミンク (4/20)エルタテハ (4/21)湿原が再び雪景色.塘路湖の氷がほとんど消える エゾアカガエルの鳴き声 (5/10)タヌキのため糞 (5/12)エゾシカ

■春は空気が乾燥して火災が起こりやすい季節です。野外活動の際は火の取り扱いに十分注意しましょう。また、行楽シーズンを迎え、飼い犬を連れて散策する人も見かけるようになりましたが、糞の処理は飼い主が責任を持って始末するようお願いします。

◆日出・日入時間　5/15(4:00,18:39). 5/31(3:47,18:54). 6/14(3:43,19:03)

湿原の道路沿いに咲くエゾキケマン（5/12コッタロ）

釧路湿原国立公園
塘路湖エコミュージアムセンター　あるこっと
〒088-2264　北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL:015-487-3003　FAX:015-487-3004
E-mail:emc@hokkai.or.jp
開館時間 10：00～17：00（11 月～3 月は 16：00 まで）
休館日:毎週水曜日 12 月 29 日～1 月 3 日　　入館無料